カゼイン製ペプトン　ペプトン、カゼイン製の項に定める。
活性炭　〔日局〕
カテコール　$C_6H_4(OH)_2$〔１級〕
カフェイン　$C_8H_{10}N_4O_2・H_2O$〔日局〕
過マンガン酸カリウム　$KMnO_4$〔特級〕
過マンガン酸カリウム試液　過マンガン酸カリウム3.3g（3.25～3.34g）に水を加えて溶かし、1,000mLとする（0.02mol/L）。
過ヨウ素酸　HIO_4〔メタ過ヨウ素酸、特級〕
過ヨウ素酸試液　過ヨウ素酸2.5g（2.45～2.54g）に水を加えて溶かし、100mLとした後、氷酢酸400mLを加える。遮光して保存する。
過ヨウ素酸カリウム　KIO_4〔特級〕
過ヨウ素酸ナトリウム試液　メタ過ヨウ素酸ナトリウム25g（24.5～25.4g）に水に加えて溶かし、100mLとする。
ガラス繊維　〔ガラスウール、特級〕
過硫酸アンモニウム　$(NH_4)_2S_2O_8$〔特級〕
カールフィッシャー試液　一般試験法の水分定量法に定めるところによるものとする。
カールフィッシャー用エチレングリコール　エチレングリコール、カールフィッシャー用の項に定める。
カールフィッシャー用ピリジン　一般試験法の水分定量法に定めるところによるものとする。
カールフィッシャー用メタノール　一般試験法の水分定量法に定めるところによるものとする。
カルボキシメチルセルロースナトリウム　〔日局〕　置換度が0.62～0.68のものに限る。
緩衝液用0.2mol/Lリン酸二水素カリウム試液　0.2mol/Lリン酸二水素カリウム試液、緩衝液用の項に定める。
肝臓エキス　茶褐色の粉末又は粒子である。
　乾燥減量　６％以下（１g，85℃，１時間）
　溶解性　本品の溶液（１→1,000）をpH7.0に調整し、121℃で15分間高圧蒸気滅菌するとき、不溶物を認めない。
カンテン　〔日局〕
希エタノール　エタノール、希の項に定める。
希塩化第二鉄試液　塩化第二鉄試液、希の項に定める。
希塩酸　塩酸、希の項に定める。
希酢酸　酢酸、希の項に定める。
ギ酸　HCOOH〔特級〕
ギ酸ナトリウム、定量用　HCOONa〔特級〕
希２，４-ジニトロクロルベンゼン試液　２，４-ジニトロクロルベンゼン試液、希の項に定める。
希硝酸　硝酸、希の項に定める。
キシラン　植物繊維をアルカリで抽出して得られる複雑な多糖類で、加水分解によりキシロースを生ずる。５℃以下で保存する。
キシレンシアノールFF　$C_{25}H_{27}N_2NaO_7S_2$〔１級〕
キシロース　$C_5H_{10}O_5$　白色～微褐色の結晶性粉末又は粉末である。
　溶状　本品１g（0.5～1.4g）に水20mLを加えて溶かすとき、溶液は、澄明又はほとんど澄明である。
　比旋光度　本品20gを0.1gの桁まで量り、その数値を記録し、水を加えて溶かし、100mLの全量フラスコに入れ、水を標線まで加えて100mLとし、この溶液につき、層長100mmで旋光度を測定するとき、$[\alpha]_D^{20}$＝＋18.0～＋20.0°である。
　乾燥減量　0.3%以下（１g，105℃，２時間）
　強熱残分　0.1%以下（１g）
希水酸化ナトリウム試液　水酸化ナトリウム試液、希の項に定める。
希水酸化ナトリウム・エタノール試液　水酸化ナトリウム・エタノール試液、希の項に定める。
キナルジンレッド　$(C_{21}H_{23}N_2I)$　本品は、結晶性粉末でエタノールに溶けやすい。本品のメタノール溶液（0.005→1,000）は、526nm付近に極大吸収部がある。また、当該極大吸収部で吸光度を測定するとき、0.5以上である。
キナルジンレッド試液　キナルジンレッド0.1g（0.05～0.14g）を量り、酢酸100mLを加えて溶かす。用時調製する。
強アンモニア水　アンモニア水、強の項に定める。
強過酸化水素水　過酸化水素水、強の項に定める。
強酸性陽イオン交換樹脂　スルホン酸基が導入してある架橋度８％のスチレン-ジビニルベンゼン共重合体を、高速液体クロマトグラフ用に製造したものとする。
希硫酸　硫酸、希の項に定める。
金属ナトリウム　ナトリウム、金属の項に定める。
クエン酸　$C_6H_8O_7・H_2O$〔特級〕
クエン酸、無水　$C_6H_8O_7$〔日局〕
クエン酸アンモニウム　$C_6H_{14}N_2O_7$〔クエン酸二アンモニウム、特級〕
0.2mol/Lクエン酸塩緩衝液、pH5.2　クエン酸ナトリウム59.6g（59.55～59.64g）、クエン酸21.8g（21.75～21.84g）に水約750mLを加えて溶かし、必要ならば、クエン酸溶液（１→50）又はクエン酸ナトリウム溶液（１→100）を用いてpH5.2に調整した後、水を加えて1,000mLとする。
クエン酸塩緩衝液、酵素力試験用　0.1mol/L塩酸試液に0.1mol/Lクエン酸二ナトリウム試液を加えて所定のpHに調整する。
クエン酸緩衝液　クエン酸21.0g（20.95～21.04g）及び水酸化ナトリウム8.4g（8.35～8.44g）に水約700mLを加えて溶かし、塩酸でpH1.3に調整した後、水を加えて1,000mLとする。
クエン酸試液、１mol/L　クエン酸12g（11.5～12.4g）に水を加えて溶かし、100mLとする。
クエン酸ナトリウム　$Na_3C_6H_5O_7・２H_2O$〔特級〕
クエン酸ナトリウム緩衝液　クエン酸ナトリウム980g（979.5～980.4g）に水3,500mL、塩酸700mL及びオクタン酸５mLを加え、１mol/L塩酸でpH2.2に調整した後、水を加えて5,000mLとする。この溶液500mLに20v/v%チオジエチレングリコール溶液500mL及び水3,500mLを加え、１mol/L塩酸でpH2.2に調整した後、水を加えて5,000mLとする。
クエン酸二ナトリウム　$C_6H_6Na_2O_7・1(1/2)H_2O$〔特級〕
クエン酸二ナトリウム試液、0.1mol/L　クエン酸二ナトリウム26.3g（26.25～26.34g）に水を加えて1,000mLとする。
クエン酸リチウム　$Li_3C_6H_5O_7・４H_2O$〔アミノ酸分析用〕
クエン酸リチウム緩衝液　クエン酸リチウム6.9g（6.85～6.94g）、塩化リチウム1.3g（1.25～1.34g）、クエン酸8.8g（8.75～8.84g）、塩酸4.0mL、エタノール40.0mL、チオジエチレングリコール2.5mL及びオクタン酸0.1mLに水を加えて溶かし、1,000mLとし、塩酸及び５mol/L水酸化リチウムでpHを2.98に調整する。
クリスタルバイオレット　〔特級〕
クリスタルバイオレット・氷酢酸試液　クリスタルバイオレット50mg（49.5～50.4mg）を氷酢酸100mLに溶かす。